



◆道の照明設置は。(中原巳)

答 沿線事業所、飯田国道事務所、塩尻警察署、地元と協議し一層の安全確保に努める。

◆中心市街地活性化策

問 塩尻駅から交流センターまでの歩道の傾斜や凹凸がある。高齢者や障がい者に配慮した歩道の整備は。(中原巳)

答 民地乗り入れ部分や交差点付近に段差がある。市と松本建設事務所で現地調査を行い、早急な対応を要望する。



空中連絡通路でつながったウイングロードビルと市民交流センター

問 ウイングロードビル、交流センター連携による開館イベントや相乗効果の出せる今後の計画は。(中原巳)

答 6月26日1階・2階商業施設のリニューアルオープン当日のセレモニーのほか、7月の交流センターオープンと連携したイベントに取り組み、地域振興バスを利用し

買い物に来る利用者に帰りのバス無料券配布は。(中原巳)

答 地元事業者、ウイングロードサイドとも取り組みが可能か検討を働きかける。

駅周辺整備事業の今後は



◆塩尻駅東口整備事業

問 観光交流センター内、地場産品の販売スペース拡充を。

答 全体の建築面積は85坪を限度として計画し、各施設の目的、機能が効果的に発揮できる面積規模を検討する。

問 駐輪場は利用者のために屋根付きにすべきでは。

(古畑)



現在の塩尻駅東口駐輪場



整備された広丘駅西口

答 景観と防犯上や費用面からも多額の費用が必要になり屋根付きは考えていない。

◆広丘駅周辺のまちづくり

問 市街地の活性化対策として、塩尻駅・広丘駅周辺整備が重要とされ、大門に集中投資がされている。もう一方の広丘駅周辺のまちづくりの構想はどうか。

(中村)

答 広丘地域は、良好な住宅地域として発展してきている。ハードからソフトへの移行期として心豊かに過ごせる街づくりへ向けた組織を設置した。更に、広丘地域活性化センターという拠点も視野に入れ研究を開始している。

問 そのことは市長選のマニフェストに明記する考えはあるか。

(中村)

答 検討させて欲しい。

災害に強いまちづくりを



◆防災地図の作成を

問 ハザードマップを作って市民に分かるようにすべきと思うがどうか。

答 今後作成し、全戸配布していく。

◆耐震化の促進を

問 公共施設、一般住宅の耐震化率は。

(古畑)

答 市有建築物の耐震化率は67.4%、個人住宅の耐震化率は70.5%となっている。

◆はしご車配備の必要性

問 はしご車配備の基準と対象建物数は。

(中原巳)

答 塩尻署48棟、広丘署23棟、うち槽川地区に3棟ある。必



市内に配置が望まれる はしご車